

令和4年度第2回 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会（書面開催）委員意見一覧

期間:令和4年8月22日から令和4年8月31日まで

委員	パブリックコメントで寄せられた意見及び回答について [資料1をご確認いただき、ご意見を入力してください。]	館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョンについて [共生ビジョン(冊子)及び今回送付の差替えをご確認いただき、ご意見を入力してください。]	ビジョンの策定について	ビジョンの修正、検討が必要な点について	その他ご意見等 [ご意見がありましたら入力してください。]	事務局から
入佐 久美子	特にありません。	特にありません。	異議ありません。			意見の提出ありがとうございます。
石渡 秀嗣	了解しました。	共生ビジョン(目指す姿)に向けて地道に、確実に進める事を行う事だと思います。だれもが館山、南房総を住みやすい地域だと思います。でも暮らしやすいとは言いません。すでに手元にある住みやすい地域に、ビジョンで掲げた暮らしやすさをひとつずつ実現して積み上げる中で、令和8年までに住みやすく暮らしやすくなったと実感できるように年度、年度の見直しをしながら進めていこうにしたいと思います。	異議ありません。		館山、南房総の強みを更に強みにすることが必要だと思います。弱い所の強化以上に強みを更に強める事を進めるべきだと思います。	意見の提出ありがとうございます。共生ビジョンの策定期間である令和8年度までに17事業を推進し、暮らしやすくなったと実感できるような事業展開をしています。
岡崎 俊明	多様な意見に対して、市の回答はどれも適切だと思います。意見3の「専門学校の誘致」については、学校統合で使われなくなった校舎、校庭に誘致するのもよいかもありません。	特にありません。素晴らしいビジョンだと思います。実現化することを願っています。	異議ありません。		特にありません。担当者のご努力に敬服いたします。事業が予算化されビジョンが実効化されることを願っています。 個人的にも勉強になりました。大変お世話になりました。	意見の提出ありがとうございます。統廃合により使用しなくなった学校施設の中には老朽化から修繕の必要がある物件もあることから、提供の方法を検討したうえで学校誘致の材料の一つにしていきたいと思ます。
関 貴之	特にありません。	特にありません。	異議ありません。			意見の提出ありがとうございます。
熊澤 洋介	意見7・8については、館山市・南房総市の2市で取り組むこととして、実現可能なのではないかと思います。	例えば、幼小中の給食費や医療費を無料もしくは助成することができれば、子育て世帯としては大変魅力的な地域に感じるのではないかと。教育面では、安房地域の公立高校の定員の削減が行われない限り、学習面での競争は生まれません。よって勉強しなくても空きのある高校へ進学するという傾向が2～3年続いている。 勉強(進学先)や部活動を本気で考えているお子さんや保護者は君津・木更津方面へ進学し、更に意識の高い人は中学から進学している。 中学高校を過ごした思い出やその土地への思いは強いはずなので、是非、安房の地域で中学高校生活を送ってほしいと思う。	異議ありません。		世帯収入が県下位という現実からも、安房に居住しているお子さんが、安房へ進学した場合には助成金を出すなどの大胆な一手も必要ではないかと。流入より流出をどう阻止できるかを考えたい。	意見の提出ありがとうございます。意見7・8は実現可能性の高い意見と考えています。課題を洗い出し、検討を重ねます。
本間 裕二	それぞれ具体的な方向性を示された良い提案だと感じました。  ご意見1に関しては、エリアごとの特性を踏まえた上でワンストップで受け入れ窓口の整備があると良いのではないのでしょうか。両市でサポート制度の違いはありますが、そこも共通ビジョンに沿った枠組みにおいては同一とするような措置も考え、南房総・館山の両市で移住定住促進の体制が取れたらと思います。  ご意見10に関しては、様々な分野で職員の学びの場を設けることを私も提案したいです。外部コンサルに委託し資金流出とノウハウが蓄積がされない状況を作るのではなく、例えば都市経営プロフェッショナルスクールなど職員の学びにお金を出し様々な事業を主体的に行える状況を作ることが重要と考えます。(そして、なるべく専門人材はノウハウ蓄積と円滑な事業推進を行う理由から頻繁なジョブローテーションから外すことも併せて提案します。)  このような学びを両市で行い、学習者の知識共有の勉強会も両市で共同開催することで、各分野の最新の情報と共通言語ができ、より一層事業推進ははかれると考えます。財政が厳しいからこそ、投資効果の高い学びに資金を投じて組織での学習サイクルを効かせていくのはとても有効と思ます。	特にございません	異議ありません。		地域の生き残りをかけては、両市において観光以外にもファンリテイマネジメントの共同実施の検討や、競合エリアと我が安房地域が勝つ上で、何で勝負していくのかを官民連携して考えたり、そのビジョンに対して条例や国の枠組み・県と連携を総動員していく流れが本ビジョンをきっかけに起こればと願っております。 私もいち民間としてリスクを負い、主体的にまちづくりに関わって参りますので、是非とも力を貸してください。 様々なハードルはありますが、民はパブリックマインドを、官はプライベートマインドをそれぞれ持ち、共に学びながらできる理由を考え良い地域を作れたら幸いです。引き続き、よろしくお願します。	意見の提出ありがとうございます。移住定住の促進は事業⑬で共生ビジョンに明記しており、相談窓口のワンストップ化を図ることも事業の一つとしています。 職員交流は事業⑯で共生ビジョンに明記しているとおり、まずは合同研修から開始する予定です。一般行政職員は幅広い分野をジョブローテーションすることから、専門知識の深度化のため専門人材の育成は課題の一つです。共生ビジョンを通じて検討を進めていきます。 今回策定する共生ビジョンで設定した17事業以外にも、両市が連携することで効果を見込める事業があると思ますので、検討していきます。

令和4年度第2回 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会（書面開催）委員意見一覧

期間: 令和4年8月22日から令和4年8月31日まで

委員	パブリックコメントで寄せられた意見及び回答について [資料1をご確認いただき、ご意見を入力してください。]	館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョンについて [共生ビジョン(冊子)及び今回送付の差替えをご確認いただき、ご意見を入力してください。]	ビジョンの策定について	ビジョンの修正、検討が必要な点について	その他ご意見等 [ご意見がありましたら入力してください。]	事務局から
八代 健正	<p>回答された内容について概ね賛同いたします。おとりまとめありがとうございます！以下回答についての意見、蛇足的なものは申し上げます。</p> <p>意見1 について 休廃校となった施設について回答されている内容に賛同しますが、元学校という施設の多くは少子高齢化が極端に進んだ地域に存在し長い歴史を持った地域の皆さんの様々な思いが集まった場所であることがほとんどであります。そういった観点から、活用には「1、開かれた場所であること」「2、その地域が持続してゆくために寄与する場所になること」の二つが大切で、加えてそれが行政の負担になってしまうことの無いように、「3、収益を生みだし、自立した場所になること」の条件が必要になると思います。 白浜の根本、砂取地区のように極端に過疎が進んでしまったエリアで幹線沿いであり、一定の行き交う来訪者がある場所というコンディションの場合は、シラハマ校舎の事例は有益に感じますが、そうではない学校の活用方法は、それぞれに新たなアイデアが必要になるかと思えます。 例) 富崎小学校→大学の研究(自然環境など)施設の誘致→一部を開き出張診療所・公民館機能を持たせる場所として+有事の避難スペースとしての解放 例) 神戸小学校→白浜地域などの子どもたちも使える学童施設+介護施設+公民館機能を持たせる場所として+有事の避難スペースとしての解放・・・などなど、それぞれに有益な活用方法を模索し早急に活用を募集すべきかと考えます。 それぞれの各地域の特性に合わせ、それぞれの活用方法を南房総全域で行うことでひとが住み続けることができる魅力的で自立した広域圏域に近づくと考えます。</p> <p>意見6 について 回答について概ね賛同します。しかしながら、外国人の受け入れは拒むものではありませんが、人口の増加という側面というターゲットとなるのは在日の企業に勤めている首都圏在住の膨大な数の一次的居住者ということになるかと思えます。「1、高額所得者が多いので税収の向上が見込める」「2、地域が文化に多様な文化や価値観にふれる機会が増える」などの効果が見込めると考えます。国外にアピールすることはかなりハードルが高いので、国内、しかも首都圏の外資企業などに明確なターゲットングが必要かと思えます。 また、外国語(英語)は住民が学ぶことも楽しいし、子供への教育や生涯学習の意味合いではとても重要だと考えますし、外国人が増えることで、活用の範囲も広がるため実益的かと思えます。しかしながら、外国に住んだときにまずもって感じるのはその地域ので使うことになる本人にとっての外国語を生活に困らない程度までにてでもいいので教えてもらえる機会、場があるほうが有益です。日本語を教えるサービスの拡充をすべきです。 例えば・・・この豊かな環境を活かして「WEB&amp;現地で南房総を楽しみながら日本語を学ぶ」というサービスを民間の会社がサービス提供を行うことは、実は在日外国人に対する有益な移住促進の手段になると考えます。広域で取り組むことで、意外な観光政策にもなりうるのではないかと。 日本人、外国人に関係なく、移住支援のサービスとして大切なのは、迎える姿勢と同時にここで幸せに生きてゆけるよう順応できるための支援だと思います。</p> <p>以上、2項目について意見申し上げました。 いずれの題材も、広域で取り組むことにより、より大きな効果を生むものだと思います。</p>	<p>賛同いたします。</p>	<p>異議ありません。</p>		<p>ビジョン策定案に異論はありません。</p> <p>「今日住んでいるひとたちが幸せな地域であることが移住先としてもっと大切な条件」と考えております。</p> <p>総論として南房総圏域の連携による事業の実施はすばらしいことで、未来にむけて大きなチャンスであると思えます。</p> <p>パブリックコメントのなかにある意見それぞれがとても大切な意見だと思いますが、最も大切なのは、ここに住む我々住民が、行政や政治家に地域の未来の責任を押し付け頼り切ることなく率先して一隅を照らす存在となることだと思うのです。行政や政治家に「やってくれ！」ではなく、自分たちのくらしをすこしでも幸せなものに作るよう努力をおし、住民自らの手で自分たちのふるさとを幸せな居住地に作る！そういう地域住民の意識の向上です。</p> <p>そんな場所になれば、おのずと移住者やここで生まれてくる子供も増える・・・それが南房総の未来を明るくする元になると。</p> <p>広域連携をもって、そういった意欲のある住民がその活動をしやすい条件整備があるとそういったことが促進されるのかもしれない。</p> <p>自分たちのまちを自分たちの努力で幸せな場所にするという住民意識の高まりは、時間はかかるけれど、未来にむけ確実なまちづくりの手段であると思えます。</p> <p>もうひとつ、策定案にある「地方圏へのひとの流れを創出」ですが、同時に大切であることとして、ここで生まれる子供を増やすことは、とても大事であります。</p> <p>もちろん簡単なことではありませんが、いまそれをしない限り、策定案の冒頭にありとおり人口減少が進んでいる我が国において地方都市が消滅してゆくことは時間の問題となります。子供を生みたくない、育てたくないというまちづくりは南房総エリアを持続可能なまち、まさに定住自立へのロードマップに描く最大の施策ではないでしょうか。</p> <p>以上です。</p>	<p>意見の提出ありがとうございます。 施設がある限り維持費が発生し続けることから、それをまかなう最低限の収益を得る必要があります。また、地域の拠点であった学校施設であることから、その思いを鑑みる必要があるという意見に同意します。 住民が英語を学ぶとともに、移住してくる外国人が日本語を学ぶ機会を提供することで、相互に文化を理解することが重要であると思えます。パブリックコメントでは住民への英語教育が主でしたが、外国人移住者を増やしていく際には日本語教育についても検討をしていきたいと思えます。</p>
石渡 雄悟	<p>特にありません。 提出された意見に対する回答の通りに実行していただくことを期待しています。</p>	<p>特にありません。</p>	<p>異議ありません。</p>			<p>意見の提出ありがとうございます。</p>
木曾 貴夫	<p>提出された意見9の回答 マルチコピー機をそれぞれの市役所等に設置の検討とのことですが、役所までいくのなら窓口があるのでコピー機設置はいらないと思う。</p>	<p>特にありません。</p>	<p>異議ありません。</p>			<p>意見の提出ありがとうございます。 市役所窓口ではその市で管理する情報しか取り扱うことができないことから、館山市役所で南房総市民が(逆も同様)証明書等取得するための解決策の一つとしてマルチコピー機の設置を回答で提案しました。</p>
土屋 博章	<p>特段ございません。</p>	<p>特段ございません。</p>	<p>異議ありません。</p>			<p>意見の提出ありがとうございます。</p>